

名古屋大学大学院工学研究科  
マイクロ・ナノ機械理工学専攻  
マイクロ・ナノ機械科学講座  
生産プロセス工学研究グループ

**村島 基之 助教**

平成 20 年卒業(第 67 回)



私は博士前期課程、後期課程ともに名古屋大学・工学研究科・機械理工学専攻で学び、現在は改組後のマイクロ・ナノ機械理工学専攻で助教をしております。学部時代の4年間も含めると11年以上名古屋大学で生活していることになり、人生の1/3以上を過ごしていることになりました。大学の教員、特に助教という学生と関わる立場にいますと、自分の学生時代と大きく変わった点が沢山見えてきます。

個人的に不思議に思っている最近の流行は、筋トレとロードバイクブームです。私の学生時代には部活を行っている一部の男子が山の上のトレーニングルームを使用しているイメージでしたが、最近では、スポーツを行っていない学生も多数日々のトレーニングに励んでいます。トレーニング後にはプロテイン欠かさず摂取する徹底ぶりです。10万円を超える高級ロードバイクの所有率も非常に高く、2号館の前にはスタンドが付いていないロードバイク用の駐輪スペースまで設けられました。奨学金の問題などがマスコミで取りざたされることもありますが、一方で裕福な学生も多数いるようです。どちらもアメリカのブームが日本に上陸したように感じますが、あそこまで熱中できるものなのかと日々不思議に感じる次第です。

学生の私生活では、インスタグラム(インスタ)・ツイッター・Line・Youtubeが欠かせない存在となっているようで、常に様々な情報と接しているのが現状です。個人的には無価値なやり取り等がほとんどで時間の無駄に思いますが、たまに貴重な最新情報(大学構内でボヤが現在進行形で起こっているなど)を教えてくれる場合があり、でその活用方法次第では侮れないツールだとも教えられる日々です。

個人的に非常に危惧しているのは、パソコンに弱い学生が増えている点です。最近の報道では、フォルダやセーブファイルといった概念を知らない大学生が増

えているとされています。さすがにそのレベルの学生を名古屋大学で見ることがありませんが、Windows でいえば、コントロールパネル・コマンドプロンプト・レジストリ・強制終了など私の学生時代は知っていたであろう基礎知識を全く知らない学生がほとんどです。また、OS や基本ソフトウェア (Microsoft Office 等) のショートカットを全く知らないのにも衝撃を覚えます。私が中学、高校生の時代の OS・ハードウェアは非常に脆弱で何とかパソコンをフリーズさせないためにあらゆる設定をいじって最適化・高速化させたものです。現在の比較的安定した OS や十分なハードウェア性能の影響で、自分でシステムを設定するという発想がない学生がほとんどです。スマートフォンの普及によるパソコンとの触れ合いの減少もそれを加速させている一因だと思います。明らかに昔と比べてパソコンの操作速度が遅くなっており、社会で活躍する際に生産性が上がらない大きなボトルネックになるのではないかと危惧しています。

今回の便りでは、助教として働く立場から最近の学生の様子の一部を紹介させていただきました。大学は最高学府であり、そこを卒業した学生はすぐに社会で活躍することを求められます。今後も研究だけではなく学生の教育を通じて社会に貢献していきたいです。